

# 2019年度新潟県栄養士会医療事業部 春季研修会アンケート結果

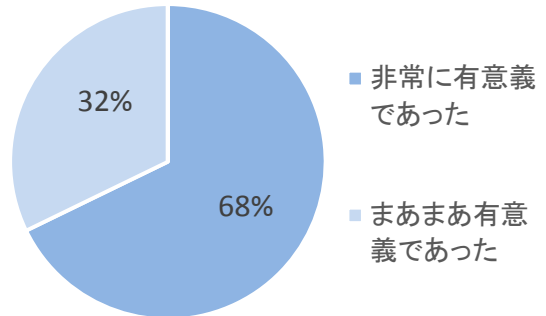
日時: 2019年5月11日(土)10:00~16:30

会場: 新潟県民会館 小ホール

参加者 84名 回答数 59名 回答率 70.24%

## Q1 今回の研修会は有意義でしたか？

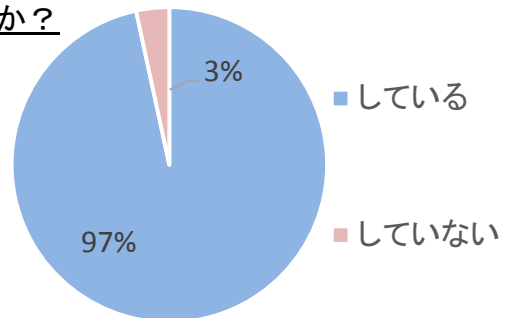
1 非常に有意義であった	40名
2 まあまあ有意義であった	19名
3 あまり有意義ではなかった	0名
4 まったく有意義ではなかった	0名
5 わからない	0名



## Q2 日本摂食嚥下リハビリテーション学会「嚥下調整食分類2013」について

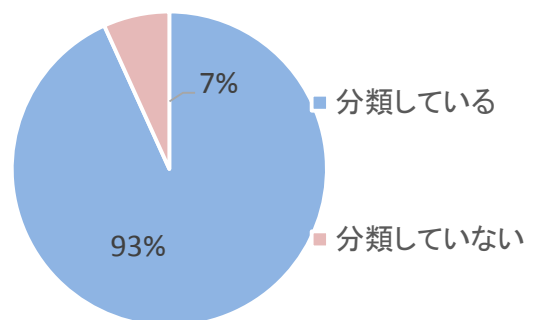
### ① 「嚥下調整食分類2013」の内容を把握していますか？

1 している	57名
2 していない	2名

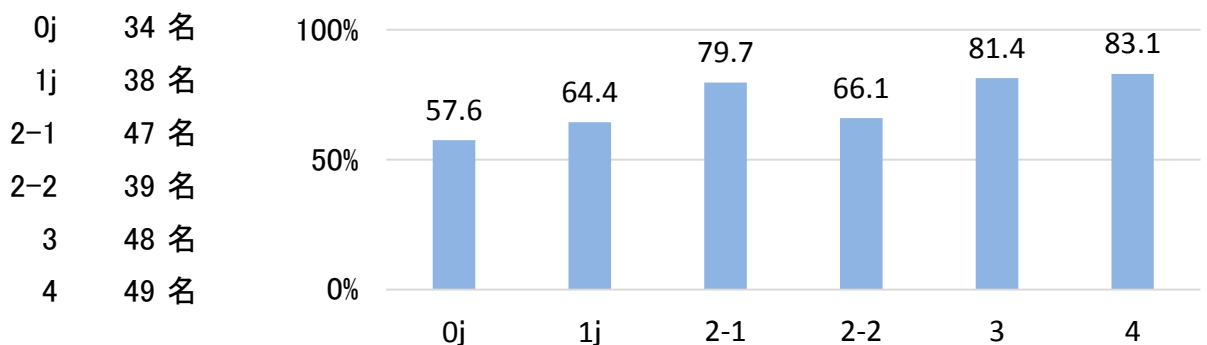


### ② 自施設の食形態を「嚥下調整食分類2013」に合わせて分類していますか？

1 分類している	55名
2 分類していない	4名



### ②-1 「分類している」とお答えになった方は、提供している分類コードにチェックを入れてください。



※「分類している」と回答したものの、未記入が1名有り。カウントせず。

②-2 「分類していない」とお答えになった方は、どのような理由で「していない」のですか？

入職したばかりでよく分からない。	1名
今後取り入れたいが、手を付けられないでいる。	1名
自施設が個人の産院のため。	1名
未記入	1名

③ 嚥下の栄養指導の指示を受けた時に、〇〇の情報が足りないと思うのはどんな情報ですか？

嚥下機能評価の結果

とろみの濃度について

これまでの経過と現在の嚥下の状態

これまでの食事形態の経過

食事介助でのポイント

家族状況・経済面

家族背景ならびにの協力体制や介護力

本人・家族の意欲

在宅での食事内容や食事形態

食べたい食形態と嚥下能力の差

いまだ関連する栄養指導を受けた事がなく、よく分からない。

自身の学習不足により、理解度が足りていない。

Q3 今後、県栄養士会福祉事業部と嚥下調整食に関する合同研修会を予定しています。

研修内容に関して具体的な希望があればお書きください。

連携した情報を診療報酬・介護報酬にどのように絡めていけばいいか、意見交換をしたい。

施設側が病院の食事が絶対みたいな考えのことが多い。状況に合わせて考えて欲しい。

学会分類に市販食品(介護食品以外のもの)が当てはまるか、具体的な食材がわかると良い。

現行の食形態を嚥下調整食に適応させる方法。

受け入れ施設で何が出せるのか。受け入れ先の持っている栄養補助食品を知りたい。

食べさせ方、頸部聴診法のことを内容に入れて欲しい。

他施設での栄養士の介入について知りたい。

食事をやわらかくする工夫について。

コード4の軟らかさについて、施設ではどのくらい対応出来るのか。

今回のような症例検討&発表、病院と福祉の連携、在宅支援について。

各コードの判断に迷うので県栄養士会で統一した基準を作り、それに沿って説明していただきたい。

すぐに現場で生かせる実践的な内容を聞きたい。

Q4 感想、意見などご自由にお書きください。

今後の業務の参考になった。

いろいろな工夫を聞いて勉強になった。

日々悩んでいること困っていることを自分なりに考えることができた。

他病院の実践的な指導内容を聞くことが出来た。

シンポジウムはテーマがバラバラで話しにくいのでは。

試食が出来て良かった。

ディスカッションの時間を設けてあり、いろいろな意見が聞いて勉強になった。

グループディスカッションが有意義であった。上がった内容が欲しい。

まとめたものを参加者へ配布してもらいたい。

グループワークが良かった。他職種の方とも合わせてグループワークの機会があるといい。

会場はユニゾンが良かった。

駐車料金がかからない会場にしてほしい。特に1日など長い日程の時は避けてもらいたい。

具体的な栄養指導の内容が聞いて良かった。先生がパワフルで、心に響いた。

「楽しみを提供出来る栄養指導」に感動した。

嚥下クイズが楽しい企画だった。具体的な指導実演も見てみたい。

誤嚥性肺炎後の食事開始について、今後取り上げて欲しい。

STがいなくても嚥下評価法のやり方、食事形態の決め方について知りたいです。

以上